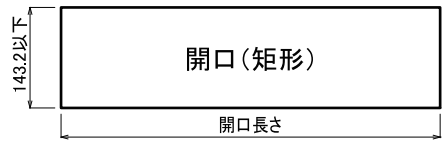


■ 施工手順

1. 配管貫通部の設置

耐火マルチボックスは、「最大開口に対する配管収納可能断面積(表2)」と「1つの金具に対する配管収納可能断面積(表3)」のいずれも満足している必要があります。
配管サイズおよび占率(最大開口に対する配管収納可能断面積と1つの金具に対する配管収納可能断面積)を考慮して貫通開口部を設けます。
(表1～3参照)
中空壁、片壁の場合は、開口補強を開口に沿うように設けます。



また、無配管の金具を設けてパテ埋めるだけで、将来配管用のスペースを確保することが可能です。

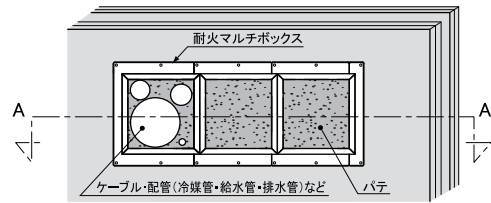


表1 金具数と開口寸法

金具連結数 (個用)	開口長さ(mm以下)	
	中空壁・ALC・RC壁	片壁
1	145	156
2	280	291
3	415	426
4	550	561
5	685	696
6	820	831
7	955	認定外
8	1090	認定外

表2 金具数と収納配管目安表

金具連結数 (個用)	最大開口に対する配管収納可能断面積(mm ²)	
	中空壁・ALC・RC壁	片壁
1	6312.2※	7036.8※
2	12189.1	13126.4
3	18066.1	19216.0
4	23943.0	25305.5
5	29819.9	31395.1
6	35696.8	37484.7
7	41573.8	認定外
8	47450.7	認定外

表3 1つの金具に対する収納配管目安表

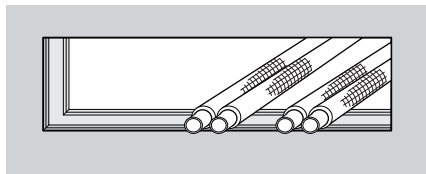
配管種類	1つの金具に対する配管収納可能断面積(mm ²)	
	中空壁・ALC・RC壁	片壁
冷媒管・給水管・排水管	7469.2※	7469.2※
ケーブル・電線管	3821.0	3821.0
排水管のみ	4737.4	認定外

※ 1個用の開口は、6312.2mm²(中空壁、ALC・RC壁)、7036.8mm²(片壁)の配管しか収納することができません。

【後付け施工(①*②*)の場合】*P1の「さまざまな取付方法」を参照してください。

2. 配管・ケーブル(電線)・電線管の設置

配管・ケーブル(電線)・電線管を設置して支持固定をしてください。



3. 金具の取付け

配管・ケーブル(電線)・電線管を金具の中に入れて込んで、同梱しているコンクリートビスを使用して、金具を壁面に固定してください。

＜中空壁、ALC・RCの場合＞

同梱のビスまたは、お手持ちのM4×38mm以上の長さのコーススレッドなどを使用いただいても、認定上問題はございません。

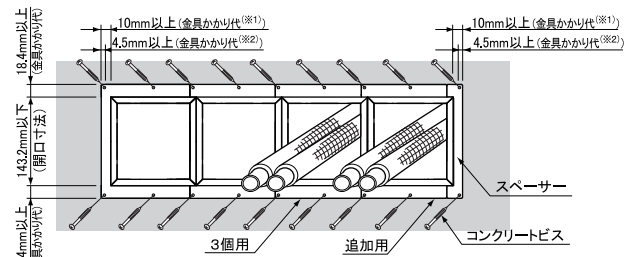
(※1) 両端共に10mm以上、金具が壁にかかるようにしてください。

＜片壁の場合＞

M4×57mm以上の長さのコーススレッドなどを使用してください。

(※2) 両端共に4.5mm以上、金具が壁にかかるようにしてください。

(組み合せ例: 3個用+追加用)



①*壁面取付・外向仕様の場合

②*壁面取付・内向仕様の場合

※矢印の順に壁に取り付けると、容易に金具の追加ができます。

※金具を連結する場合は必ず「追加用(IRMB-T)」をご使用ください。

例: ボックスを6個分使用する場合は、「3個用(IRMB-3)」・・・1セットと、「追加用(IRMB-T)」・・・3セットを組み合わせてご使用ください。

4. 熱膨張性耐熱シール材 MBパテの充てん・仕上げ

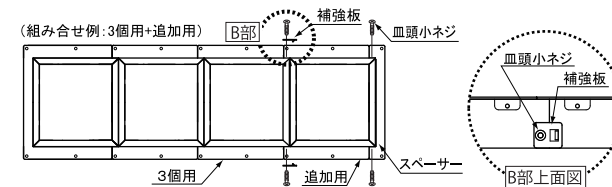
熱膨張性耐熱シール材 MBパテ(以下MBパテとする)を金具の内部に密に充てんし、隙間がなく面一であることを確認し、脱落しないように仕上げてください。

【先付け施工(①*②*③*④*)の場合】*P1の「さまざまな取付方法」を参照してください。

2. 金具の取付け

(1) すべての金具を組み合わせてください。

※金具を連結する場合は必ず「追加用(IRMB-T)」をご使用ください。
例: ボックスを6個分使用する場合は、「3個用(IRMB-3)」・・・1セットと、「追加用(IRMB-T)」・・・3セットを組み合わせてご使用ください。



※すべての金具を組み合わせた状態で施工してください。(施工後は血頭小ネジが止められなくなる場合があります。)

※補強板は、必要に応じてご使用ください。

(2) 同梱しているコンクリートビスを使用して、金具を壁面に固定してください。

＜中空壁、ALC・RCの場合＞

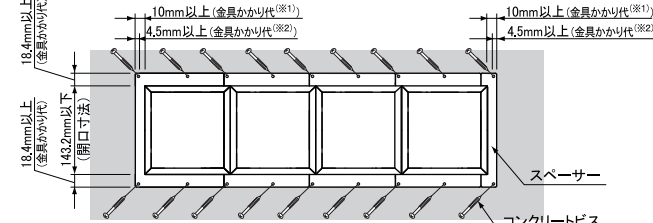
同梱のビスまたは、お手持ちのM4×38mm以上の長さのコーススレッドなどを使用いただいても、認定上問題はございません。

(※1) 両端共に10mm以上、金具が壁にかかるようにしてください。

＜片壁の場合＞

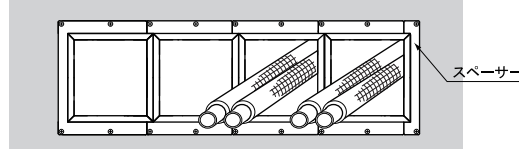
M4×57mm以上の長さのコーススレッドなどを使用してください。

(※2) 両端共に4.5mm以上、金具が壁にかかるようにしてください。



3. 配管・ケーブル(電線)・電線管の設置

配管・ケーブル(電線)・電線管を設置して支持固定をしてください。



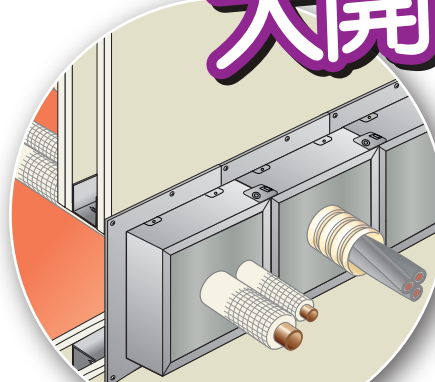
防火区画開口部の耐火措置工法部材

IRMB

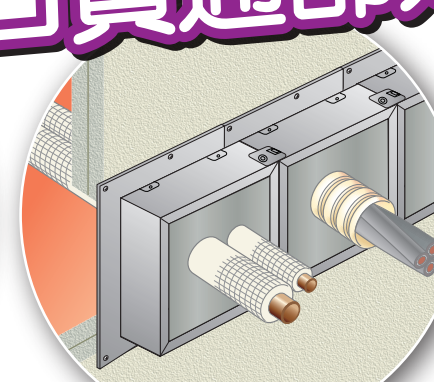
耐火マルチボックス

国土交通大臣認定: PS060WL-0536(中空壁)(ALC・RC壁)/PS060WL-0537(片壁)

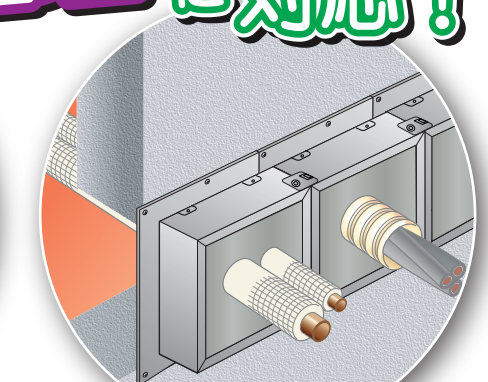
乾式壁の大開口貫通部処理に対応!



中空壁



片壁



ALC・RC壁

※上図以外の取り付けも可能です。(下図参照)

優れた特長

● 配管・ケーブル、多本数の同時貫通が可能

冷媒・給排水・電気といった

「多用途」・「多品種」・「多系統」の

配管およびケーブルの同時貫通が可能です。

従来個々に壁面開口や貫通部処理をおこなっていたものが、一つの開口部で処理できるため工数低減につながります。

貫通材の数に合わせて金具の連結が可能です。

● 一括施工管理

「多業種」の区画貫通処理を一括施工管理ができます。

● 将来配管スペース確保

配管未貫通箇所も、パテ埋めのみで「将来配管スペース」として確保できます。

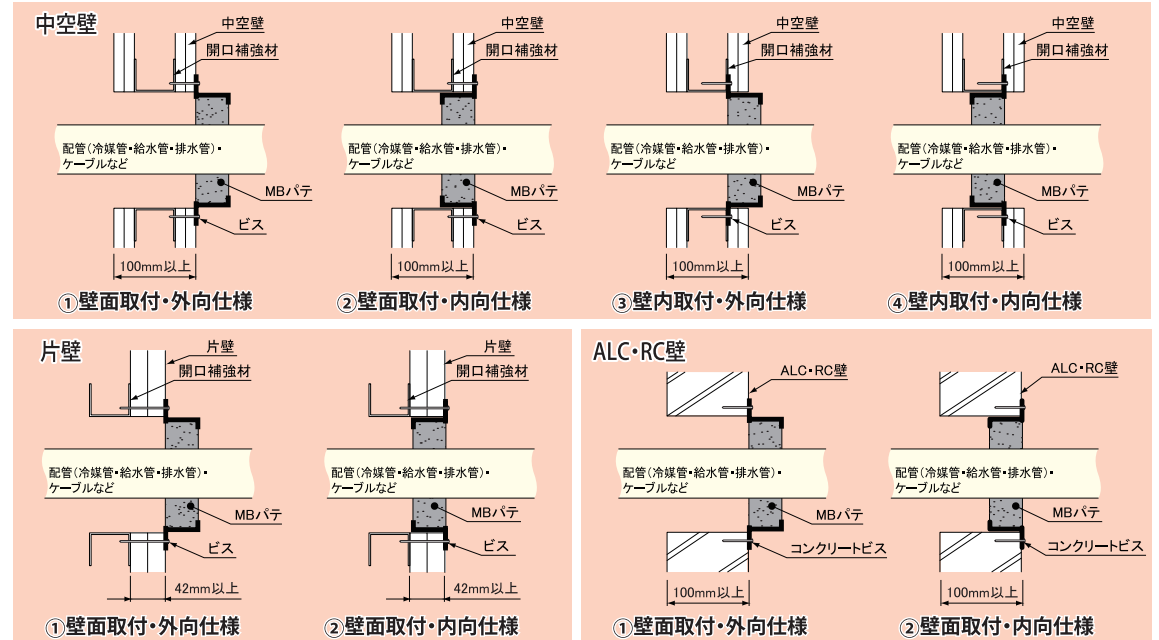
● 各種「壁」に対応

通常のコンクリート壁やALC壁はもちろん、中空壁、片壁といった「乾式壁にも対応」できます。

● さまざまな取り付けが可能

施工状況に応じて下図のような「さまざまな取り付け」が可能です。

貫通可能配管例:
▶ 冷媒用被覆銅管φ44.45mm (保温厚20mm)
▶ 排水用VP管50A (片壁を除く)
▶ ケーブルCVT250mm²
▶ 給水用架橋ポリエチレン管/ポリブテン管30A



http://www.INABA-DENKO.com/

因幡電工事業部
因幡電機産業株式会社

札幌営業所 (011)209-1784(代) / 名古屋営業所 (052)541-1780(代) / 広島 1 課 (06)4391-1713(代)
仙台営業所 (022)293-1785(代) / 金沢営業所 (076)262-1783(代) / 広島 2 課 (03)5633-5850(代)
関東営業所 (048)642-1783(代) / 近畿 1 課 (06)4391-1940(代) / 東京推進課 (03)5633-5850(代)
首都圏 1・2 課 (03)5633-5850(代) / 近畿 2 課 (06)4391-1732(代) / 名古屋推進 (052)541-1780(代)
神奈川 1・2 課 (045)470-1780(代) / 広島営業所 (082)545-1132(代) / 大阪推進課 (06)4391-1941(代)
九州 1・2 課 (092)525-1782(代) / 福岡推進課 (092)525-1782(代)

